

# 『災害時における大工技能者の 技術・技能向上等事業』

## 一般社団法人 全国木造建設事業協会

令和2年2月28日

### 1. 団体紹介

地域工務店・大工が力をあわせて、災害発生時に応急仮設木造住宅等の復興支援を目的に設立。

#### 団体名

一般社団法人 全国木造建設事業協会（略称：全木協） 2011年9月1日設立

〒104-0032

東京都中央区八丁堀3-4-10 京橋北見ビル東館 6階

電話：03-5540-6678 FAX：03-5540-6679 <http://zenmokkyo.jp>

#### 会員

##### 正会員

一般社団法人 JBN・全国工務店協会（建設統括部会事務局）  
全国建設労働組合総連合（技能統括部会事務局）

#### 役員

理事長 大野 年司（JBN・全国工務店協会会長）  
副理事長 吉田 三男（全建総連中央執行委員長）  
専務理事 小倉 範之（全建総連書記次長）

## 2. 大工育成に関するこれまでの取組

当協会が東日本大震災・熊本地震・西日本豪雨等で木造応急仮設住宅を建設した経験を踏まえ、各都道府県と災害時の応急仮設木造住宅建設の災害協定の締結を進める中で、災害時に当該都道府県で迅速に応急仮設木造住宅の建設に対応できる体制を構築すべく、協定締結した都道府県において、木造応急仮設住宅の全国共通仕様や施工手順等を習得するための座学・実技講習を行い、応急仮設木造住宅の建設に携わる工務店・大工技能者の施工技術等の向上を図った。



座学講義(マニュアル・実技説明)



実技訓練(木杭打ち)

2

## 3. 補助事業の概要

### (1) 事業名

災害時における大工技能者の技術・技能向上等事業

### (2) 提案の概要

災害時において、迅速に木造応急仮設住宅を建設するために、各都道府県において実践的な訓練を行う。主な内容としては、木造応急仮設住宅建設に関する講習会は1日講習で、午前中は座学、午後は実技形式講習会とする。

受講対象者は、応急仮設木造住宅の施工に携わる大工技能者・工務店・、関係者等とする。

また、全国研修会を年1回開催し、各地域の仕様や広域支援体制、地域事務局の取り組み事例報告を受け、各地域での参考とすると共に今後の対策強化を図る。加えて、災害時における適切な施工等に向けて全体的な意識共有を図り、当該年度事業の効果・検証を行う。

3

## 3. 補助事業の概要

### (3) 人材育成の達成目標

災害時対応に関する知識等や施工方法の習得と共に、災害救助法をはじめとする関係法令や応急仮設住宅建設に関する仕組み、地域での支援・受援体制や仕様、労働者供給事業を理解する。ホールダウン金物の施工方法、断熱材の仕舞、開口部施工、石膏ボードの張り方、界壁施工等の施工時の特に重要な部分の施工技術を習得し、**木造応急仮設住宅を早く適切に施工できる技術力を持つ大工技能者を育成する。**

### (4) 達成目標の検証方法

検証として、各県の講習会講師が、実技訓練が終わった後に良かったこと・改善点等を総括し、受講者からアンケートとる。これにより改善点が明確になり、大工技能者が界壁施工や応急仮設住宅建設に関する仕組み等を理解することで実際に災害が発生した時に、迅速に対応することができる。

4

## 3. 補助事業の概要

### (5) 期待される効果

大工技能者等の広域支援体制及び受援体制の整備と地域性を踏まえた木造応急仮設住宅の仕様作成により、災害時に被災地の都道府県に迅速に図面・仕様の情報提供でき、都道府県はその仕様も基に迅速に都道府県独自の仕様への変更が可能になる。このことにより、**発災から応急仮設木造住宅の建設着手までの期間が短縮でき、避難所で不便の多い避難生活を続ける被災者に住み良い住まいをより早く提供することが可能となる。**

### (6) 受講者属性

#### ① 受講者数

参加人数240人／令和元年度300人

長野県20名(20～24歳:2名、25-29歳:3名、30代:6名、40代:9名)

#### ② 受講料

3,000円／人

#### ③ 募集及び選定方法

(一社)全国木造建設事業協会に所属する各都道府県の施工工務店及び大工技能者等を対象に募集し、原則定員先着順とするが、会場の規模により募集定員を増やして対応

5

## 4. 運営委員会等の活動状況



毎年1回、全木協の実習訓練に関する報告を兼ねた全国研修会を開催  
令和元度は、参加者は、約100名。主な内容として、訓練報告・長野県での木造  
応急仮設住宅建設及び千葉県神奈川県での応急修理報告等

6

## 5. 研修内容

### (1) 座学 (全19回)



実施県：秋田・山形・富山・福井・長野・山梨・茨城・神奈川・東京・千葉・大阪・兵庫  
広島・岡山・山口・福岡(2回)・宮崎・沖縄・

座学内容

- ①全国木造建設事業協会概要説明
- ②応急仮設住宅建設マニュアル
- ③図面説明(木造応急仮設住宅・談話室)

7

## 5. 研修内容

### (2) 実技 (全12回・木造応急仮設住宅建設研修会)



実施県: 秋田・山形・富山・福井・長野・神奈川・千葉・大阪・兵庫・福岡・宮崎  
沖縄

木造応急仮設住宅建設界壁施工実習(写真: 長野県)

8

## 5. 研修内容

### (2) 実技 (全5回・談話室施工研修会)



実施県: 山梨・東京・茨城・山口・福岡

談話室施工実習訓練(山口県)

9

## 6. 人材育成の達成状況（達成目標への到達度の検証）

災害時対応に関する知識等や施工方法の習得と共に、災害救助法をはじめとする関係法令や応急仮設住宅建設に関する仕組み、地域での支援・受援体制や仕様、労働者供給事業を理解する。ホールダウン金物の施工方法、断熱材の仕舞、開口部施工、石膏ボードの張り方、界壁施工等の施工時の特に重要な部分の施工技術を習得し、**応急仮設木造住宅を早く適切に施工できる技術力を持つ大工技能者を育成することを目的とする。**

受講者からは、仮設住宅に関する仕組みや界壁施工について理解することができたと多くの意見が聞かれた。また、**応急仮設住宅は、迅速に建設することが求められるが、どうせ仮設住宅だからという考え方だったが、仮設や個人住宅だろうが人が住むところにかわりないという認識をもったという言葉もきかれた。**

10

## 7. 補助事業により得られた成果等

本研修会の成果が一番顕著にあらわれたのは、長野県での実例である。長野県では、10月8日に本研修会を開催したが、直後の12～13日にかけて台風19号が長野県等に甚大な被害をもたらした。この結果、全木協が長野県で木造応急仮設住宅の建設をすることになったが、**本研修会で仮設実習訓練を行っていた成果により、早期に着工でき、引き渡しまで1か月というスピードで、被災者の方々に対して、迅速に仮設住宅を提供できた。本研修会の成果がでた結果である。**



台風19号における長野県での木造応急仮設住宅建設現場

11

## 8. 補助事業により得られた課題等

本研修会で得られた課題について

### ①日程について

受講者は、現場に従事している方が多く、平日は人が集まりにくいという意見もあり、県によっては土日に開催をした県もあった。

### ②研修内容について

各県の受講者によって、普段使用している断熱材の種類が違い、断熱施工で時間がかかることもあった。断熱材の入れ方についても、受講者によって違いがみられたので、事前に断熱の入れ方についても、座学の一部として説明などを行う必要がある。

仮設住宅の基礎は、実際には原則木杭なので、木杭を想定した訓練等が必要という声も受講者の中から聞かれたので今後の対応課題の一つである。

12

## 9. 大工育成に関する今後の取組について

○(一社)全国木造建設事業協会では、平成29年度から3年計画で災害協定締結  
・県を中心として木造応急仮設住宅の実習訓練を行ってきたが、**長野県での災害発生時には、研修会で行った成果が出て、迅速に被災者に対して提供することができた。**

○今後の取組みについて

・毎年災害が発生しており、災害に迅速に急務である。

このことを踏まえて、以下のことを検討する。

- ①高齢者施設の図面作成及び座学実習
- ②木杭を中心とした仮設実習訓練

13





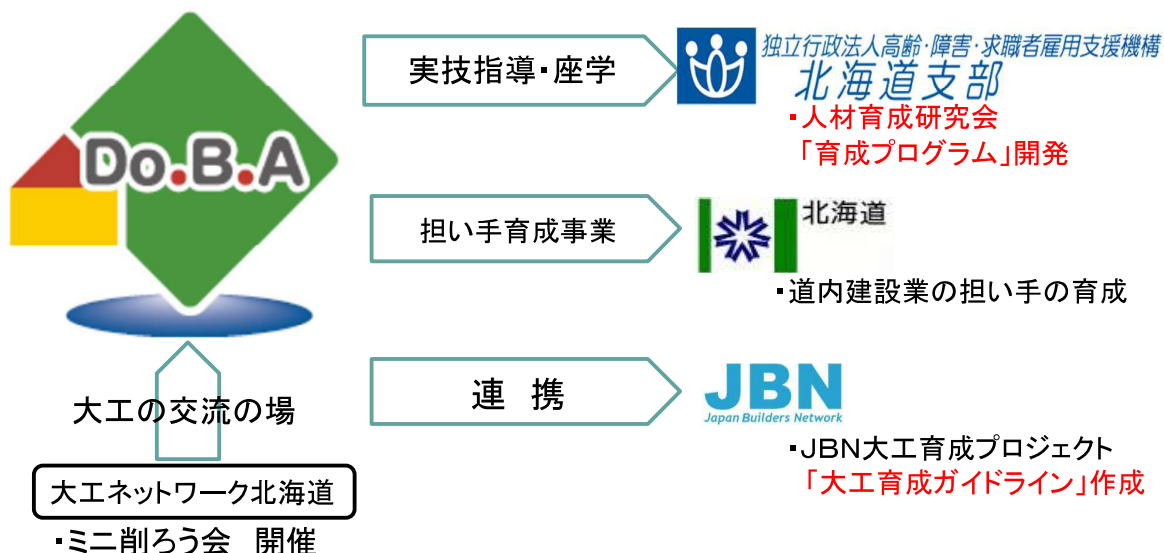
# 『北海道の工務店ネットワークによる 大工育成システムの検討』

## 一般社団法人 北海道ビルダーズ協会

令和2年2月28日

### 1. 団体紹介

「一般社団法人 北海道ビルダーズ協会 (Do.B.A)」:  
道内の工務店・木材関連事業社・住宅関連事業社**250社**からなる、  
年間2500棟以上の建設実績がある「道内で最大の工務店団体」



## 2. 大工育成に関するこれまでの取組

### 1. JBNと連携

- ・大工育成プロジェクトに参加(平成28～令和元年)  
「大工育成ガイドライン」作成担当
- ・全国各地で大工育成研修会を担当



### 2. 北海道職業能力開発促進センター(ポリテクセンター北海道)

- ・平成28～29年度  
「北海道建設業分野人材育成研究会」を設置、委員参加(全6/9人)  
「新人大工育成プログラムの開発」平成30年～開始

#### 【プログラム内容】

- ・育成期間:3年間

対 象:高卒以上・社員大工が対象  
内 容:実技 2回/月 全24回(9:00～16:00)  
座学 6回/年(1～2時間/回)  
会 場:ポリテク北海道 建築実習室  
※詳細は「5. 研修内容」に示す



2

## 3. 補助事業の概要

### (1) 事業名

『北海道の工務店ネットワークによる大工育成システムの検討』

### (2) 提案の概要

- 計画的・組織的に大工職を育成して行く必要性が、ネットワークを活かして「**適応力のある大工**」を育成する。
- 経営者が若年大工の育成について、各種情報を共有し、**雇用環境改善**をするかについて検討することにより効果的、即応的な新人大工育成手法を検討する。

3

### 3. 補助事業の概要

#### (3) 人材育成の達成目標

1. **3年間**でプレカット材による新築住宅を**指導棟梁監督の下、一棟施工できる技術取得を目標**
2. 知識、技術、役割、取組姿勢、態度、マナー、安全管理等を計画的・継続的・意識的に指導し技能・技術を取得することを目指す。
3. 工務店経営者に対し、求人票、キャリアパス、就業ガイドライン、就業規則等の作成により社員(大工)に対する職場環境の改善への取組を行う

#### (4) 達成目標の検証方法

1. 新人大工について
  - ・技能、3級技能士取得。座学講義で3級技能士相当問題により達成度を把握「大工技能者職業能力評価シート」を参考に検証
2. 経営者について
  - ・雇用・就業形態改善等、大工育成達成目標の検証について事業者アンケートを実施
3. 指導者について
  - ・指導期間後、経営者、大工育成担当者(指導棟梁)により評価レポート提出し検証スポーツコーチング「指導力を評価する質問項目」を参考に検証

4

### 3. 補助事業の概要

#### (5) 期待される効果

- ① 優れた技能を有する大工の育成により大工の社会的評価、地位向上と待遇、労働環境の改善に寄与する
- ② 業界として採用と育成、社員化を進めることで定着の取組みに貢献し、国の住宅・建築産業の技術継承に寄与する
- ③ 工務店経営の改善と安定化により、競争力の向上に寄与する
- ④ 北海道の積雪寒冷気候に対応する最新で高度な住宅建設技術向上に寄与する

#### (6) 受講者属性

##### ① 受講者数

参加人数 **1年生: 11名 (20~24才: 10名, 30代: 1名)**  
(年令H31.4.1現在) **2年生: 8名(19才: 1名, 20~24才: 6名, 30代: 1名)**

##### ② 受講料

1年生: 96,000円(1コース: 16,000円/人, 6コース/年 年24回)  
2年生: 39,000円(1コース: 13,000円+10,000円+16,000円 年9回)

##### ③ 募集及び選定方法

協会内の大工育成委員会による公募

5

## 4. 運営委員会等の活動状況

### 北海道ビルダーズ協会『大工育成委員会』

委員：協会・理事・幹事 10名で構成  
オブザーバー：北海道・労働政策局  
ポリテクセンター北海道  
札幌高等技術専門学院

回数：3回

活動内容：・工務店向け社員化取り組みアンケートの検討・報告会  
・札幌高等技専・札幌工業高校ほか 業務・会社説明会  
・会社・現場見学会  
・北海道主催「建設業魅力発見キャラバン」への協力



札幌高等技専 業務・会社説明会



会社見学会(プレカット工場)

6

## 5. 研修内容（座学）

### （1）座学（全6回）

座学の概略は、

- ①現代における大工の多様な仕事と道具について
- ②現代に繋がる大工の歴史的な役割とその蓄積された技能、技術体系、
- ③大工が携わる木造建築の現代的意義について（低炭素社会、林業等）
- ④住宅の省エネルギーについて
- ⑤現代の建築の流れ

等について

- 第1回：木造建築と大工という職能  
第2回：技能士とその各レベルの相違について  
第3回：ドイツの大工育成学校とその技術指導  
第4回：諸外国の建築（ヨーロッパを中心として）  
第5回：住宅の省エネルギー技術について  
第6回：現場における安全（予定）



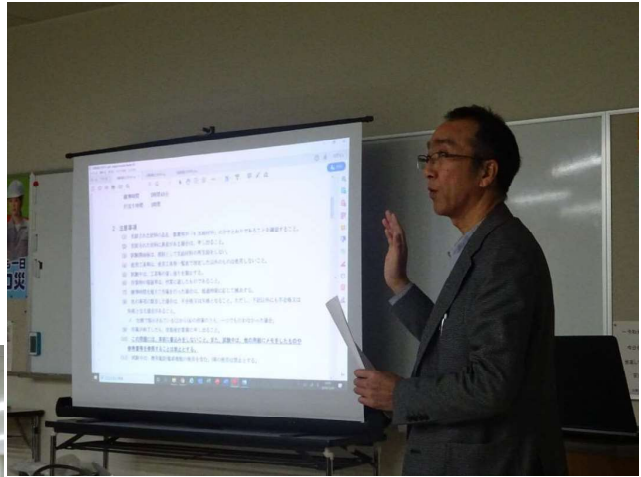
『大工という職能』

7

## 5. 研修内容（座学）

### （1）座学

第2回  
技能士とその各レベルの相違について  
第5回  
住宅の省エネルギー技術について



『技能士技術レベルの相違について』



『住宅の省エネルギー技術について』

8

## 5. 研修内容（実技）

### （2）1年生 実技プログラム 全24回

回数	日程	内容		時間
		午前 9:00~12:00 3H	午後 13:00~16:00 3H	
髻・鉋の仕立て研磨実践技術		: B402-060-3		
1-1	13 土	かんなの構造など	学 道具の手入れ（かんな）	6
1-2	4/ 14 日	のみの種類と構造など	道具の手入れ（のみ）	6
継手・仕口の実践的な加工技術		: B402-060-3		
2-1	5/ 25 土	継手・仕口の種類と構造強度	継手の加工（火打ち材）	6
2-2	1 土	仕口の加工（大人れあり掛け）	継手の加工（腰掛け蟻継ぎ）	6
2-3	6/ 15 土	仕口の加工（兜あり）	仕口の加工（兜あり）	6
2-4	22 土	継手の加工（追っかけ大栓）	継手の加工（追っかけ大栓）	6
実践的な木造軸組工法の加工・組立技術		: B402-060-3		
3-1	7/ 6 土	板図の作成・矩形棒・尺杖	学 板図の作成・矩形棒・尺杖	6
3-2	20 土	原寸図の作成	部材の墨付け・加工	6
3-3	3 土	部材の墨付け・加工	部材の墨付け・加工	6
3-4	8/ 17 土	建て方	補強の取り付け	6
片流れ屋根の墨付・加工実践技術		: B402-060-3		
4-1	9/ 7 土	小屋組みの種類と矩計術	勾配と片流れ	6
4-2	10/ 19 土	小屋組みの墨付け	小屋組みの加工	6
4-3	20 日	小屋組みの加工	建て方	6
戸建て住宅電気設備設計実践技術		: B402-060-3		
5-1	11/ 9 土	電気設備の概要/コンセント関連	電気工事	6
5-2	16 土	住宅配線	住宅配線	6
木造住宅の断熱材施工法の実践技術		: B402-060-3		
6-1	12/ 7 土	断熱気密の概要	断熱施工（充填）	6
6-2	14 土	各種ボードの種類	断熱施工（充填）	6
壁装施工の実践技術		: B402-060-3		
7-1	1 土	下地処理（パテ）	下地処理（パテ）	6
7-2	2/ 8 土	クロス工事	クロス工事	6
7-3	15 土	クロス工事	クロス工事	6
木材加工技術における問題解決法と品質の向上		: B402-060-3		
8-1	2/ 29 土	四方転び1	四方転び2	6
8-2	3/ 14 土	四方転び3	四方転び4	6
8-3	15 日	四方転び5	四方転び6	6

9

## 5. 研修内容（実技）

### （3）2年生 実技プログラム 全9回

回数	日程	内容		時間
		午前 9:00~12:00 3H	午後 13:00~16:00 3H	
		<b>コンクリート型枠施工の実践技術</b> : C304-003-A		
1-1	10 金	概要	施工図（組立図等）の作成	6
1-2	5/ 11 土	現寸図の作成	合板及び桟木への墨付け	6
1-3	12 日	パネル作成	建込・水平・垂直・寸法の確認	6
		<b>住宅給排水衛生設備の実践技術</b> : C304-003-A		
2-1	28 土	概要	配管の加工・接続	6
2-2	9/ 29 日	給水・給湯・排水工事	給水・給湯・排水工事	6
		<b>実践的なツーバイフォー工法の加工・組立技術</b> : B402-Z04-A		
3-1	16 木	2×4工法の概要	工具と材料、釘打ち方法等について	6
3-2	17 金	電動工具、接合金物の活用	模擬家屋の概要	6
3-3	1/18 土	加工・組立	加工・組立	6
3-4	19 日	加工・組立	施工のポイントと評価	6

**プラス 窓サッシの取り付け技術**

10

## 5. 研修内容（実技）



**1年生: 実践的な木造軸組工法の加工・組立**

片流れ・和室・洋室の建設＋断熱気密、電気配線＋内装クロス貼り

**2年生: 枠組み壁工法**

加工・組立＋窓サッシの取り付け実践



11

## 5. 研修内容（指導棟梁研修会）

### 指導棟梁研修会（スポーツコーチング・メソッドによる）



北海道教育大学 越山 賢一 教授

審判:1級インストラクター

Jリーグ主審・審判 1998,1994~2001

審判アセッサー 2003~現在

指導:A級コーチ 1982~現在 38年間監督

総理大臣杯 7回 出場

天皇杯 6回 出場

札幌:1月11日(土曜日)

参加69名(大工関係61名)

・60代:10人(16.4%)

・50代:9人(14.7%)

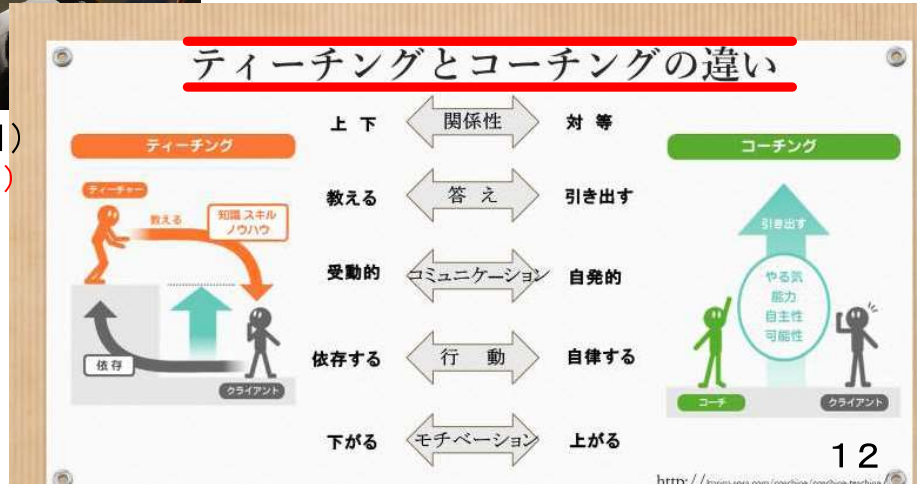
・40代:19人(31.2%)

・30代:13人(21.3%)

・20代:10人(16.4%)

旭川:1月17日(金曜日)

参加21名



## 5. 研修内容（建設キャリアアップシステム研修会）

### 社員化への取り組み『建設キャリアアップシステム研修会』



全建総連 小倉 範之 書記次長

工務店の視点を重視した

1) 建設キャリアアップシステム

2) 登録基幹技能者制度

の概要について

経営者・総務人事担当者向け

札幌:10月24日 34名

函館:1月31日 14名

旭川:2月5日 10名

帯広:2月20日18名(予定)

## 5. 研修内容（工務店の「働き方改革」のポイント）

### 工務店向け労務管理セミナー『工務店の「働き方改革」のポイント』



労務管理事務所 4JH  
代表 日比野 大輔 氏  
(社労士)

工務店の視点を重視した「働き方改革」への対応

- ・工務店における「働き方改革」とは？
- ・今ある**就業規則**で大丈夫？
- ・時間外労働・割増賃金・有給休暇への対応？

札幌1月31日(土曜日)27名

14

## 5. 研修内容（現地技術研修会）

### （高度な技術の共有） 現地技術研修会



第1回:函館 渋谷建設 12月10日(火曜日)  
災害に対応出来る 省CO2ゼロ・エネ住宅  
技術:太陽光発電+ZEH住宅+EV自動車・蓄電池

第2回:網走 光輝建設 1月28日(火曜日)  
技術:400mm断熱の家、暖房(エアコン一台)  
Ua値:0.16

住宅用蓄電池



15



## 5. 研修内容（関連事業）

### （3）その他

『大工ネットワーク北海道』：大工同士の交流の場  
工務店が大工をサポート  
設立：平成29年7月1日



小川三夫棟梁と新人大工の対話  
令和元年6月22日（土曜日）総会にて



大工ネット ミニ削ろう会  
小川三夫棟梁の実演  
令和元年6月22日（土曜日）

16

## 5. 研修内容（関連事業）

### 『道外研修旅行』

平成31年3月 奈良・京都・神戸 研修旅行を開催

第1日：奈良 ・法隆寺・鶯工舎作業場研修…講師：小川三夫棟梁

第2日：大阪 ・築150年住宅改修工事研修

京都 ・大徳寺（方丈・瑞峯院：茶室平成「待庵」）

第3日：神戸 ・竹中大工道具館研修



法隆寺 中門前にて



鶯工舎 作業場の寺社工事模型

17

## 6. 人材育成の達成状況（達成目標への到達度の検証）

### 受け入れ側の意見（ポリテクセンター北海道より）

1年間の指導により達成したこと

1. ほとんど扱ったことのない道具を1年後の3月には、使いこなしていた。  
当初、貸与した工具（規矩、鉋）も各自が購入し、業務で使用するなど**意欲と自覚が向上**した
2. 開講時は、寡黙で周りとの協調性が低い研修生もいたが、1年を通じ横のつながり、最後は**仲間意識の重要性を理解**することで、**協力し作業**を行っていた
3. 訓練内容とは別に、普段の仕事の内容などを研修生同士で**情報交換**し楽しく受講していた

18

## 7. 補助事業により得られた成果等

### 派遣元企業の意見（アンケートの自由記述より）

1. 同年代の仲間ができ、モチベーションが継続していた。  
**適切に計画されたカリキュラム**に沿い、**専門のコーチの指導**を受けられたことが非常に良かった
2. 各々のセミナー毎にテーマと目的を絞っていることで、メリハリのある充実した内容となっている
3. 電気配線やクロス貼りなどの**一貫した作業工程を経験**したことで、他職種に配慮できる大工へと成長してくれることを期待
4. 研修生仲間との会話で得た知識で、社内での会話にも話題が広がり、**二次的な教育**にもなっている。**社内の先輩達との会話**が増えることで、研修生にとって自信へとつながっている
5. 自分自身の立場や役割を理解し始めた  
社内の研修を受けていない大工とは明らかに違う価値を持った

19

## 8. 補助事業により得られた課題等

- アンケート「若手大工の育成について」 回答43/138社(31.1%)
  - ・「若手大工の育成」は、 **とても必要:71.4%** **必要:26.2%**
  - ・「若手大工の**育成の障害**」
    - 1.若手の入社希望者がいない 45.0%
    - 2.社内に育成システムがない 37.5%
    - 3.時間と費用が掛かる 35.0%
- 大工の新規入社について  
道内、教育機関(工業高校・高等技専・専門学校等)への**情報の提供が少なく、更に強化する必要**がある。
- プログラムへの参加について  
育成プログラムへの参加は、札幌から概ね**1時間圏内**に限られるため**道内他都市への展開**が必要である。

20

## 9. 大工育成に関する今後の取組について 1

個々の工務店のOJTに加えて**3年間の育成プログラム**による指導の取り組みを今後も進め、  
協会の**ネットワークを活かし**、道内各地域に波及・普及させていくことを目標とする

1. 道内の行政・教育機関・団体との**連携をさらに強化**するとともに、募集、PRの活動を行う(ポリテク・道庁・道立訓練校・工業高校 等)
2. 大工育成**委員会**に道内の行政・教育機関の**参画を求め活動**を行う
3. 開発・実践している育成プログラムを検証し、**より効果的な育成**を行うとともに、**指導者の育成**を行う
4. ポリテク北海道本部を中核として **道内主要都市での展開**を強化する

21

## 9. 大工育成に関する今後の取組について 2

5. 社員化、新規入職者の雇用の安定化を促進する研修・セミナーの取り組みを進める
6. 3年間のOJT実績を踏まえて各社ごとの作業特長、バラツキを排除した共通課題の標準化を行い「北海道ビルダーズ協会育成標準プログラム」の試作を進める
7. 2年目3年目の集合訓練の一環として大工作業を通じた社会貢献活動を行う(学校への小規模施設作製協力など)
8. 全国各地のJ BN連携団体と情報交換、育成活動協力、ネットワーク形成を行う

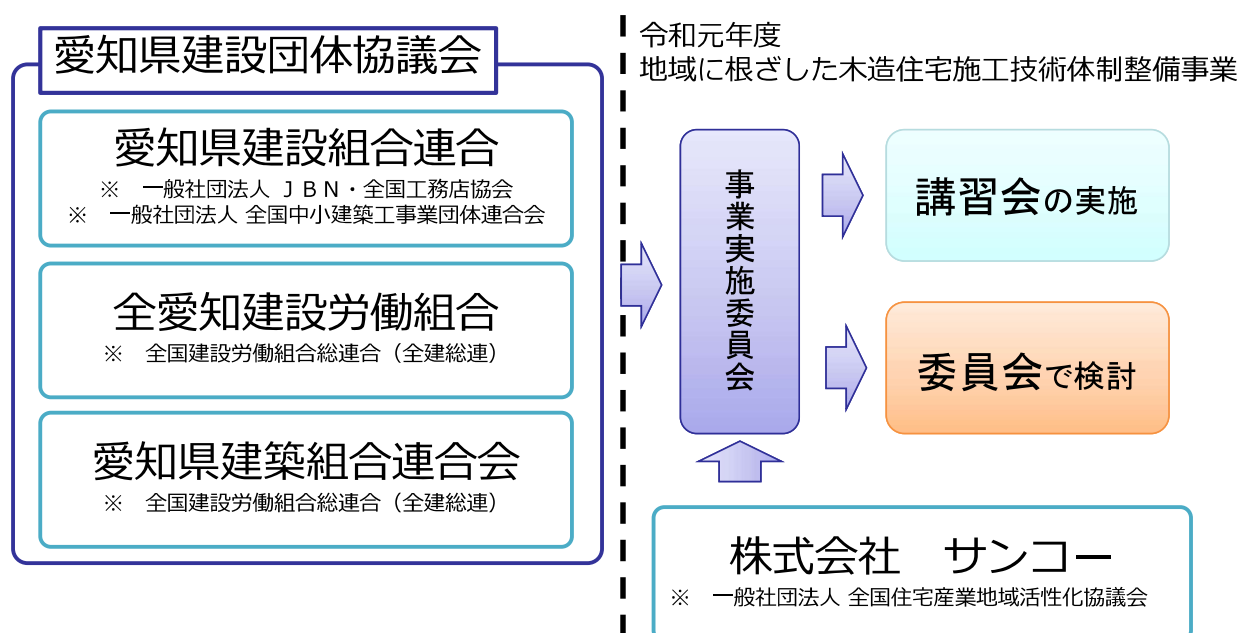
# 『工務店経営と住宅の維持管理業務から発生するリフォーム提案研修』

## 愛知県建設団体協議会

令和2年2月28日

### 1. 団体紹介

愛知県建設団体協議会とは、木造住宅振興と地域住宅産業の構造改革等の推進を行うため愛知県内の関係団体で構成した協議会となる。



## 2. 大工育成に関するこれまでの取組

平成元年より、木造住宅関連事業者の知識・技能の向上に向けた各種研修を実施してきた。

成元年度～3年度	愛知の住まい標準的プラン講習会 「愛知の住まい標準的プラン」集作成
平成4年度～6年度	愛知の住まい施工マニュアル講習会 「愛知の住まい施工マニュアル」集作成
平成7年度～9年度	愛知の工務店等活性化講習会 「愛知の大工・工務店等活性化のために」集作成
平成10年度～12年度	消費者対象・現場見学会の実施 伝統建築物見学研修 伝統的建築技能技術講習会
平成13年度	建設リサイクル法等講習会
平成14年度	高齢者向け住宅リフォーム講習会
平成15年度	地震対策による耐震診断後の耐震改修設計・工事研修
平成16年度～17年度	木造住宅耐震改修施工技術研修会 「木造住宅耐震改修マニュアル・現場施工編」集作成
平成18年度	県民が安心して頼める施工者研修会

上記のほか、各構成団体が個別・共同で各種研修を継続実施している。

2

## 3. 補助事業の概要

### (1) 事業名

工務店経営と住宅の維持管理業務から発生する  
リフォーム提案研修

### (2) 提案の概要

全体の取組みとして、中小工務店・大工雇用主等の事業主が、自社の経営資源と必要コストや自社を取り巻く顧客の動向を理解することで、自社の雇用範囲を把握し知識技術の向上と自社で出来る対応を理解する事を目的とした

「工務店経営と住宅の維持管理業務から発生するリフォーム提案」  
の研修会を実施する。

この講習会と同時に別途委員会を開催し、自社の雇用大工や大工技能者の労働の平準化に向けて仕事の依頼が出来る、地域の労働者（雇用系大工職人・独立系大工職人）と発注者（工務店等）をつなぐ

「地域ネットワーク構築の骨子とその実現」  
に向けた検討を行う。

3

### 3. 補助事業の概要

#### (3) 人材育成の達成目標

地場工務店や個人事業主が自社の経営力を理解し、新たな労働環境の構築に向けて検討し、住宅に対する維持管理業務の実施が自社の事業において重要な位置にある事を理解し対応を進めることが出来る人材の育成を行う。

講習会実施目標：三河地区・名古屋の2カ所で各3回 計100人

#### (4) 達成目標の検証方法

講習会参加者を対象としたとしたアンケートによる理解度の確認

アンケートに下記の①～④に関連する内容を網羅し、参加者の意識確認と事業経営の上での維持管理とリフォーム、人材確保への取組みの必要性を理解し地域ネットワークの構築や活用の必要性が理解されたかを確認する。

● アンケート内容

(設問の方向性)

(確認したいこと)

- ① 自社経営力の理解 . . . . . 現状を把握し人員増加か外注強化か
- ② 経営力安定に向けた取組みへの理解 . . . 定期的な仕事確保に向けた取組み
- ③ 大工職人の雇用に向けた考え方の理解 . . 新たな雇用と人材育成への取組み
- ④ 地域ネットワークの必要性と利用検討 . . まずはネットワークの活用から

4

### 3. 補助事業の概要

#### (5) 期待される効果

維持管理業務に対する取組の浸透は、愛知県下のリフォーム市場の活性化だけでなく施工した事業者が対応することで悪質なリフォーム事業者の払拭にも繋がり、最終的には消費者の住宅の安全性や満足度の向上が期待できる。更には、事業者にとって維持管理業務の取組みが計画的なリフォーム受注につながり経営の安定にも寄与する。

#### (6) 受講者属性

##### ① 受講者数

(69人 / 100人)

##### ② 受講料

(3,000円 / 人)

##### ③ 募集及び選定方法

1) 29歳以下	1
2) 30～39歳	3
3) 40～49歳	7
4) 50～54歳	9
5) 55～59歳	6
6) 60～64歳	7
7) 65～69歳	4
8) 70歳以上	4
9) 未記入	28

受講者の年齢構成

**経営者・管理者の受講を推奨した為、受講者の年齢構成は、妥当と言える。**

建団協の構成員である愛知建連、全建愛知、愛知建築での公開公募愛知建連、全建愛知、愛知建築の機関紙・募集チラシ等での公募を実施し、各団体での会議等での案内により受講者を周知募集

5

## 4-1. 運営委員会等の活動状況

### 運営委員会会議

- 研修会実施計画・準備・進捗確認
- 地域ネットワークによる大工入職・育成検討会の準備 委員（敬称略）

委員	鈴木 貴雄、渡邊 健治
コンサル	加来 照彦、木村 信夫
事務局	山田 喜義、井上 大輔、長岡 豊、戸谷 真也

### 地域ネットワークによる大工入職・育成検討会（計画：3回）

- 地域ネットワークの必要性と構築に向けた取り組みに関する確認
- 地域ネットワークによる技能者の入職・育成の可能性に関する検討
- 名工家これまでの活動、今後に向けた課題の確認
- 地域ネットワーク構築の是非
- 地域ネットワークとしての取組みの骨子 委員（敬称略）

座長	蟹澤 宏剛
委員	鈴木 貴雄、阿部 一雄、安井 健、渡邊 健治、酒井 信行 廣石 賢司、水田 尚宏、加藤 秀司、佐野 邦彦
コンサル	加来 照彦、木村 信夫
事務局	山田 喜義、井上 大輔、長岡 豊、戸谷 真也

6

## 4-2. 運営委員会等の活動状況

### 第1回 地域ネットワークによる大工入職・育成検討会

日時 令和元年11月21日（木）17:00～19:00  
場所 MEETING SPACE AP名古屋 D ルーム（8階）  
名古屋市中村区名駅4-10-25 名駅IMAIビル8F

議事

1. 地域ネットワークの必要性と構築に向けた取り組みについて
2. 名工家でのこれまでの活動、今後に向けた課題
3. 地域ネットワークによる、技能者の入職・育成の可能性について
4. その他

内容 委員会の開催趣旨の説明と県内の  
**大工職人の需要供給のバランス、  
新規入職者の状況、リクルート等  
における課題と地域ネットワーク  
構想の検討**を行った。  
検討を行う上で、名工家が行って  
いる取組み内容を確認。  
地域ネットワーク構築の可能性と  
取組みを実施するとした際の内容  
について検討を行い、次回で取組  
みの是非を協議することとした。



7



## 4-2. 運営委員会等の活動状況

### 第2回 地域ネットワークによる大工入職・育成検討会

日時 第2回 令和元年12月13日(金) 17:00~19:00  
場所 TKPガーデンシティ栄駅前  
名古屋市中区栄4丁目2-29 名古屋広小路プレイス6階

議事

1. 地域ネットワークが行う取り組みの検討
  - リクルート：就業条件の統一
  - 技能者の継続研修の必要性
  - 新規入職者育成の課題
  - 雇用確保への取組みの検討
2. 地域ネットワーク立上げの是非

内容

前回、地域ネットワークが必要となる可能性については合意出来ていたため、その取り組み内容に関して、リクルート・新規入職者育成・継続研修の必要性・雇用確保の取組みとしての大工職人の相互間供給等について取組み内容と課題の検討を行った。

最後に、**地域ネットワーク立上げの是非を確認し2020年度に地域ネットワークの立ち上げを行うことと合意した。**



8

## 4-2. 運営委員会等の活動状況

### 第3回 地域ネットワークによる大工入職・育成検討会

日時 令和2年1月22日(金) 17:00~19:00  
場所 TKPガーデンシティ栄駅前  
名古屋市中区栄4丁目2-29 名古屋広小路プレイス6階

議事

1. 地域ネットワークの立ち上げに向けた骨子の検討
2. その他

内容

前回、地域ネットワークの設立については合意出来たが、再度確認を行い、次年度以降に本格的な活動を行う事とした。

愛知において、地域の住宅産業及び維持管理を今後も適正に行うために「**愛知 職人仕事情報ネットワーク(略称 C WIN)**」を設立することとした。

C WINの活動方針と事業内容の骨子の検討を行った。

**CWINの発起人は委員会メンバー**とし、当面の事務局を建団協に置くこととした。



9

## 5. 研修内容

### (1) 座学 (全6回：2カ所で3回実施 3-1)

- 第1回 経営資源の把握と経営者の意識改革の必要性和  
地域のネットワークの構築と活用
- 場 所 三河会場【安城市民会館】・名古屋会場【全労済愛知県本部会館】
- 日 時 令和元年10月28日(月) 13:00~18:00 (三河会場)  
令和元年10月29日(火) 13:00~18:00 (名古屋会場)
- 講 師 特定社会保険労務士 寺岡 学  
鈴木 貴雄 敬称略
- 受講者

- 資 料 中小工務店の為の労務管理  
経営コストの考え方と労働力
- 内 容 自社の経営資源の把握と経営  
コストを把握し、従業員の勤  
務条件や働き方改革への対応  
今後の建設職人の育成と人材  
連携を含めリフォームの受注  
と法令対策など、今後の事務  
所経営には欠かせない内容の  
理解を求める



10

## 5. 研修内容

### (1) 座学 (全6回：2カ所で3回実施 3-2)

- 第2回 改正省エネ基準法と省エネルギー工事实務の注意点
- 場 所 三河会場【安城市民会館】・名古屋会場【全労済愛知県本部会館】
- 日 時 令和元年11月7日(月) 13:00~18:00 (名古屋会場)  
令和元年11月8日(火) 13:00~18:00 (三河会場)
- 講 師 石塚 一郎 敬称略
- 受講者

- 資 料 H30住宅省エネルギー技術講習施工テキスト
- 内 容 今後リフォームを行う上で欠  
かすことが出来ない省エネ工  
事に関して改正省エネ基準法  
を交え、リフォーム工事を行  
う上での省エネ工事の注意点  
を解説し理解を求める



11

## 5. 研修内容

### (1) 座学（全6回：2カ所で3回実施 3-3）

第3回 維持管理提案とリフォーム受注  
場 所 三河会場【安城市民会館】・名古屋会場【全労済愛知県本部会館】  
日 時 令和元年12月09日（月）13：00～18：00（三河会場）  
令和元年12月10日（火）13：00～18：00（名古屋会場）  
講 師 木村 信夫  
加来 照彦  
鈴木 貴雄 敬称略  
受講者

資 料 経営コストの考え方と労働力  
既存建物の現況検査手順+検査DVD  
内 容 改めて自社のおかれている経営  
環境を確認し定期的な受注に向  
けた維持管理業務への取組みの  
理解を求める。  
その上で、維持管理提案を行う  
上での手順、話法・実務上等の  
注意点を解説し実務への活用を  
求める。



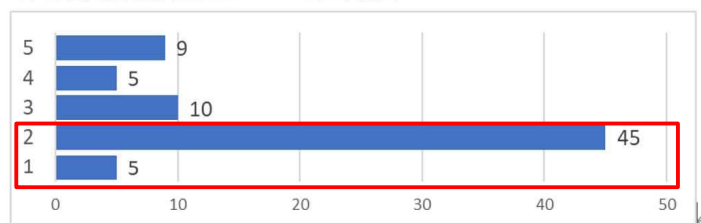
12

## 6. 人材育成の達成状況（達成目標への到達度の検証）

受講者が自社の経営力を理解し、労働環境の構築と維持管理業務の実施に向けて取り組みを行う事が出来る人材の育成を目的とした。受講後のアンケートから、**研修への理解度や満足度の評価も高く、一定以上の効果が出た**と考えている。

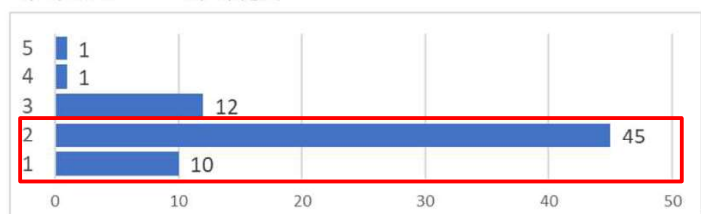
【設問8】 研修参加前の自身の目標に対する研修後の達成度を4段階で評価して下さい。←

- 1) 達成できた: 4 ・ 2) ある程度達成できた: 3 ・ 3) やや達成できなかった: 2  
4) 達成できなかった: 1 ・ 5) 未記入←



【設問11-1】 研修の満足度を4段階で評価して下さい。←

- 1) 大満足: 4 ・ 2) 満足: 3 ・ 3) やや不満: 2←  
4) 不満: 1 ・ 5) 未記入←



但し受講者数においては目標に対し69%（69人/100人）となった。

13

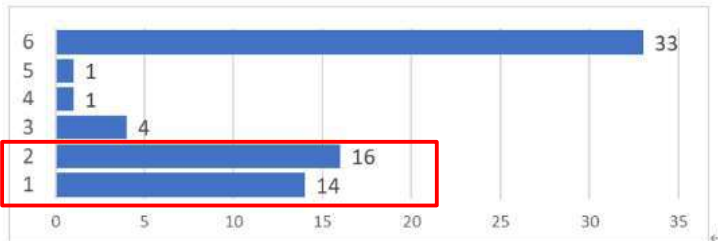
## 7. 補助事業により得られた成果等

受講者が現在の自社の状況に基づき、経営基盤の安定にむけて維持管理への取組みの必要性を理解し今後、**維持管理等の取組みを継続的に行う事を目指す**様になってきた。

更には、施工能力の確保に向けて大工技能者の雇用・育成・供給に向けた取組として「**愛知 職人仕事情報ネットワーク (C WIN)**」の**立ち上げ**への理解も得た。

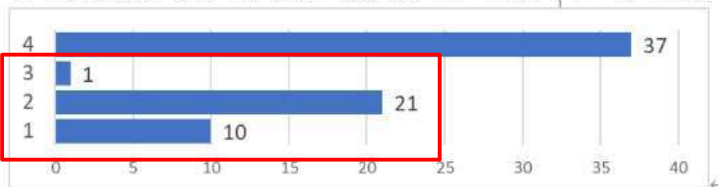
地域ネットワークの必要性<sup>④</sup>

- 1) 強く感じる・2) やや感じる・3) あまり感じない・4) 全く感じない  
5) 分からない・6) 未記入<sup>④</sup>



- 1) および2) の場合、地域ネットワークの活用を期待すること<sup>④</sup>

- 1) 入職者確保や育成・2) 交流や情報共有・3) その他( )・4) 未記入<sup>④</sup>



今後、この取組みが愛知県における大工技能者の育成だけでなく新たな、地域の住産業を支える取り組みに発展する事が期待できる。

また、本取り組みにおいて地域の住産業を担う団体として**愛知県の「全建総連」「全建連」「JBN」「住活協」の地域組織やメンバーが委員会に参加**し、地域組織を構築する事としたことを新しい取り組みを始める切っ掛けとしたい。

14

## 8. 補助事業により得られた課題等

依然、**大工技能者の不足が懸念されていることは明確**となった。

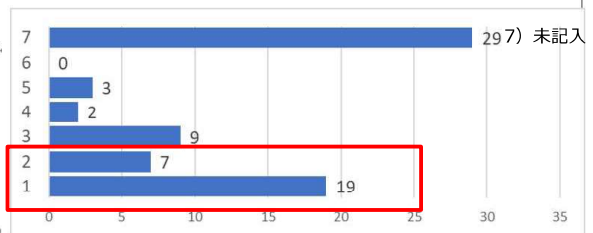
現在の仕事、今後の仕事で職人(大工)は足りていますか?<sup>④</sup>

- 1) 現状は何とか足りているが、この先不安がある。<sup>④</sup>  
2) 完全に不足していて、職人(大工)の都合に合わせて工程を組んでいる。<sup>④</sup>  
3) 十分に職人(大工)は確保できており、問題ない。4) その他・5) 未回答



専属大工の人数を教えてください<sup>④</sup>

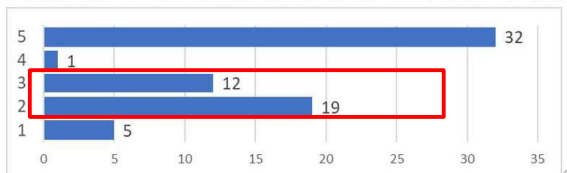
- 1) なし・2) 1名・3) 2~5名・4) 6~10名・5) 11名以上・6) 12名以上<sup>④</sup>



また、**あらたに大工技能者を育成する意志はあるが、そこに費用をかける事には依然抵抗があり、満足に体制を構築できない現状が浮き彫り**になった。

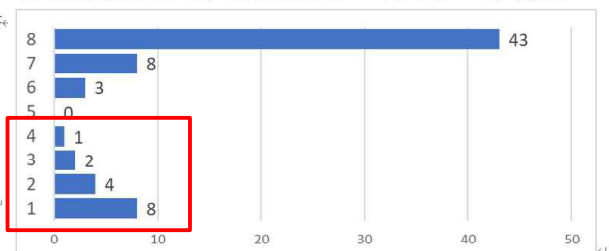
自社での大工の雇用・育成<sup>④</sup>

- 1) 現在育てている・2) 現在は育てていないが、人材がいれば育てたい<sup>④</sup>  
3) 現在は育てていないし、今後育てる予定はない・4) 不明・5) 未回答<sup>④</sup>



育成する場合の費用負担の有無<sup>④</sup>

- 1) 無い・2) 3万円未満/月・3) 5万円未満/月・4) 10万円未満/月  
5) 15万円未満/月・6) 15万円以上/月・7) 不明・8) 未記入<sup>④</sup>



15

# 9. 大工育成に関する今後の取組について

## 「愛知 職人仕事情報ネットワーク (C WIN)」の設立と取組みの開始

C WINとしての活動は、以下のイメージで段階を置いて行う。

### 第1段階：準備検討

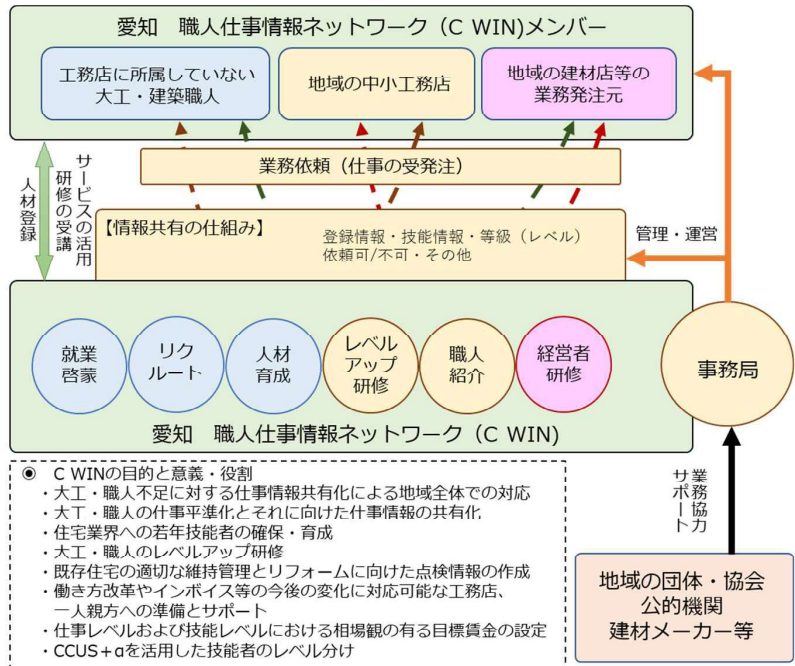
- ・体制整備（環境整備）
- ・人材育成（新規入職）
- ・リクルート（準備）

### 第2段階：試験的稼働

- ・体制強化（共有化）
- ・人材育成（全対応）
- ・人材供給
- ・リクルート（運用）

### 第3段階：稼働開始

- ・拡大（会員募集）
- ・経営研修
- ・レベルアップ研修



C WINの稼働イメージ (案)



## 『地域工務店が九州3県で取り組む大工育成』

# 一般社団法人 KKN

令和2年2月28日

## 1. 団体紹介

一般社団法人KKN

住所：熊本県上益城郡益城町古閑107-12 [(株)トーソー内]

○KKN(熊本工務店ネットワーク)は平成25年11月8日設立  
熊本の工務店・建設工事業者が連携協力し、経営の改善・技術技能  
の向上・知識・情報の共有を図り地域の工務店が強くなる為に設立。  
登録店39社 協賛商社・メーカー34社。  
JBN熊本地区の連携団体としてスタート。

○平成28年9月7日に一般社団法人KKNへ移行。  
現在会員工務店65社。(令和2年2月現在)

## 2. 大工育成に関するこれまでの取組

- ・平成29・30・31年度大工育成事業を3県合同（熊本・福岡・鹿児島）で3カ年計画で実施。
- ・平成31年度は**建築大工2級技能検定試験を受験できる規矩術講習会**を行う。（受講者は「大工」または「大工見習」）

### 【講習会内容】

- 第1回、建築大工2級技能検定課題説明→現寸図作成①
- 第2回、現寸図作成②→最終理解度チェック
- 第3回、前回の現寸図を持参→実際に墨付け作業を行う
- 第4回、前回の材料持参→実際に加工組立作業を行う
- 第5回、現寸図作成から墨付け作業まで行う
- 第6回、現寸図・墨付け・加工組立まで試験と同じ内容で実施①
- 第7回、学科試験講習会→過去3年間の問題で仮試験及び解説
- 第8回、現寸図・墨付け・加工組立まで試験と同じ内容で実施②
- 第9回、全体復習（試験前対策）

2

## 3. 補助事業の概要

### （1）事業名

地域工務店が**九州3県**で取り組む大工育成

### （2）提案の概要

- ・本事業は技術力の更なる向上に取り組もうとする大工就業者等（**木造技能者育成検討委員会**が明示する**レベル1相当の大工等**）を対象として、**3年間での技術習得**を目指す。

3



### 3. 補助事業の概要

#### (3) 人材育成の達成目標

本事業は、技術力の更なる向上に取り組もうとする大工就業者(木造技能者育成検討委員会が明示する**レベル1相当の大工等**)を対象として、長期優良住宅(新築・リフォーム)や性能向上リフォームにも対応ができる**技能・能力を備えた大工の育成を目標**とする。

#### (4) 達成目標の検証方法

- ・ **建築大工2級技能検定試験合格**
- ・ 規矩術の技術継承
- ・ 建築大工2級技能検定試験を受検した方は合否により検証。
- ・ 現寸図・木ごしらえ・墨付け・加工組立を講習会毎に、山田講師(現代の名工)が確認・検証を行った。

4

### 3. 補助事業の概要

#### (5) 期待される効果

- ①新築・リフォームにおける施工技能の向上における**消費者への安心性の寄与**
- ②**優れた大工技能者の社会的評価、地位向上に寄与**
- ③九州3県が取り組むことで、九州内の業界としての**優れた大工技能者育成、また雇用定着への取組みに関する寄与**
- ④大工技能だけではなく、最低限の木造住宅に関する知識を有することで、大工の地位向上へとつながり、日当などの向上に寄与
- ⑤**現場管理や安全衛生教育を受けることで、現場での事故等の削減率への寄与**

#### (6) 受講者属性

##### ①受講者数

- ・参加人数 37名 / 目標人数 40名  
(受講者年齢:10代2名 20代13名 30代15名 40代7名)

##### ②受講料

- ・受講料 20,000円 / 37名

##### ③募集及び選定方法

- ・会員及び県内工務店の所属大工または大工見習

5

## 4. 運営委員会等の活動状況

### 《3県合同会議/全1回》

＜構成員＞

- ・ 熊本：一般社団法人 KKN
- ・ 福岡：（一社）人にやさしい家を考える会
- ・ 鹿児島：KBN（鹿児島ビルダーズネットワーク）
- ・ 鹿児島：鹿児島優良住宅協会
- ・ JBN・全国工務店協会



[会議活動内容]

- 全体方針、スケジュール検討、各回のカリキュラム等の確認  
進捗状況の確認、情報共有、事業報告等の確認

6

## 5. 研修内容

### （1）座学（全1回×3県）

#### 《学科試験講習会》



[講習内容]

- 山田講師より技能検定建築大工の学科試験の説明を行い、テキスト平成26・27・28年度1・2級技能検定試験問題集を用いて講習会を行いました。受講者は2時間で問題集を解き、その後2時間かけて山田講師が問題の解説を行いました。

7

## 5. 研修内容

### (2) 実技 (全8回×3県)

#### 《第3回 講習会風景》



[講習内容]

第1回 「建築大工2級技能士課題説明・現寸図作成①」

第2回 「現寸図作成②・最終理解度チェック」

第3回 「前回の現寸図を持参 実際に墨付け作業を行う」

8

## 5. 研修内容

### (2) 実技 (全8回×3県)

#### 《第5回講習会風景》



[講習内容]

第4回 「前回の材料持参 実際に加工組立作業を行う」

第5回 「現寸図作成から墨付け作業まで行う」

第6回 「現寸図・墨付け・加工組立まで試験と同じ内容で実施

9

## 5. 研修内容

### (2) 実技 (全8回×3県)

#### 《第8回講習会風景》



#### [講習内容]

第8回 「現寸図・墨付け・加工組立まで試験と同じ内容で実施」

第9回 「全体復習」(試験前対策)

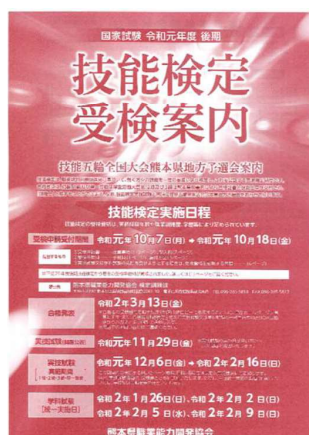
- ・ 山田講師よりタイムスケジュールの説明があり、午前中3時間午後2時間30分の計5時間30分で試験を想定した講習会を行った。  
また各工程の目標時間を、現寸図1時間以内・木ごしらえ(削り)1時間・墨付け1時間・加工2時間・組立30分を目標に行った。

10

## 6. 人材育成の達成状況 (達成目標への到達度の検証)

#### 《達成目標》

- ・ 建築大工2級技能検定試験 → 30名/37名中が受検申込  
　　< 目標50%以上合格 合格発表は令和2年3月13日(金) >
- ・ 規矩術の技術継承 → 現寸図作成・木ごしらえ・墨付け・加工組立まで一通りの工程を全員が出来るようになった。(時間制限なし)



11

## 7. 補助事業により得られた成果等

<受講者アンケート>

◎平成31年度大工育成事業に参加して良かったと思いますか？

[回答] ・とても良かった 80% ・良かった 20% ・普通 0%  
・あまり良くなかった 0% ・良くなかった 0%

理由: ・このような機会がなかったら、自分から受検しようと思わなかった。  
・理解して練習が出来た。

◎ご意見・ご感想・ご要望

- ・わかりやすく教えて頂きありがとうございます。また次の人に教える時も同じく頑張ってください。
- ・多数の参加者がいる中で受講する事は、自分の今の位置を確認でき、また他の方の工夫を参考に出来て、良かったと思います。
- ・十分に対策・準備が出来たので、とても助かりました。何もなく受検していたらみんな落ちていたと思います。(合否はまだですが)

12

## 8. 補助事業により得られた課題等

<受講者アンケート>

◎今後、改善した方が良いと思われる項目と改善方法

[日程・時間帯]

回答: 試験前月から回数を月2回でもいいと思った。

: 期間が長く間が空くので、連続での短期間講習の方が良かった。

: 平日が良かった。

[プログラム構成]

回答: 現寸図・墨付けの講習が少なかった。

【事務局見解】

事務局の計画では大工さんは忙しいので月1回が限度(仕事・休の関係)と考えて講習会スケジュールを組んだ。しかし時間が空くと忘れてしまうので、試験前にもう少し詰めたスケジュールでも良かったと考える。  
また、講習会場がなく日程調整が困難であった事も課題の一つである。

13

## 9. 大工育成に関する今後の取組について

○一般社団法人KKNは、大工育成事業を3ヵ年計画で実施。

1・2年目は座学や実技と色々な事を講習しましたが、3年目は建築大工2級技能検定を受検できるレベルまで規矩術を理解する事を前提にした実技メインの講習会内容で取組みました。

結果としては目標・目的がはっきりとした講習会内容だったので受講者の感想は良かったと考える。

○今後の取組について

- ・「登録建築大工基幹技能者」を意識した講習会を実施する場合には、1級建築大工技能士または2級建築施工管理技士を念頭に置いたカリキュラム等を検討する。
- ・他方、会員工務店からは、これまで実施してきた大工育成の実技を継続的に実施して欲しいとの声もあるため、引き続き、2級建築大工技能士を目標に置いた事業を行うかどうか思考中。

14

『働き方改革取組』『経営・管理者が学ぶ雇用環境の改善』及び『大工技能者における規矩術研修並びに新人・中堅大工コミュニケーション理論』

## 一般社団法人 福島県工務店協会

令和2年2月28日

### 1. 団体紹介

団体名：一般社団法人福島県工務店協会

会長：和田 正光

住所：福島県いわき市中央台飯野4丁目 いわきニュータウンセンタービル2階

設立：平成27年4月 ※平成28年3月に一般社団法人化

福島県内の地域工務店事業を業務、技術、人材、品質、情報等の面から支援し地域社会に良質な住宅を供給できる環境を整えることを目的に設立

会員数：31社

加盟団体：(一社)JBN・全国木造建設事業協会 連携団体

(一社)全国木造建設事業協会 福島県支部

活動実績：工務店支援に関する各種研修会

地域型住宅グリーン化事業

福島県買取型木造公営住宅整備事業

## 2. 大工育成に関するこれまでの取組

これまでの大工育成に関する取組

○平成28年度地域工務店が取り組む「多機能大工」を担うシステム

主催：(一社)JBN・全国工務店協会

研修会内容：

- ①現場・社会人マナー研修
- ②規矩術研修会
- ③施工・安全衛生管理研修会
- ④PC研修会 (Word・Excel・CAD)
- ⑤木造住宅基礎概論 (パース・デザイン等)

総受講者数：102名

2

## 3. 補助事業の概要

### (1) 事業名

働き方改革取組『経営・管理者が学ぶ雇用環境の改善』及び『大工技能者における規矩術研修並びに新人・中堅大工コミュニケーション理論』

### (2) 提案の概要

働き方改革：経営者向け) 県内3か所(郡山市・福島市・会津若松市)

#### ○職場環境改善研修会

- ・中小工務店の経営実態と改善点
- ・長時間労働等の改善、社会保険加入等の必要性、労働環境の改善
- ・先行事例としての新規入職・雇用における職場環境の改善

(新人・中堅技能者) 県内1カ所(福島市)

#### ○大工技能講習

- ・道具の使用方法と手入れや刃物の研ぎ方等の基礎
- ・墨付け、刻み、加工、組立等の規矩術 ・墨付け加工技術の見学及び技術指導
- ・二級建築大工技能士資格取得に向けた指導

#### ○コミュニケーション講習

- ・新人や中堅技能者相互のコミュニケーションの向上を図る

3



## 3. 補助事業の概要

### (3) 人材育成の達成目標

経営・管理者を対象に、地域工務店が直面している職場環境に関する課題、自社の労働環境、雇用形態、賃貸体系等の働き方を把握し、長時間労働の是正、社会保険の加入、生産性の向上、職場環境の改善に取り組む人材を育成し、各事業者における就業規則等の作成を目指す。

また、新人や中堅技能者を対象に、1-4(新人・中堅技能者)に掲げたプログラムを中心に、大工就業者(木造技能者育成検討委員会が明示するレベル1相当の大工等)育成を目指す。

### (4) 達成目標の検証方法

経営・管理者を対象に、掲げた目標達成度に関するアンケート調査を行い、研修評価としてまとめ、次年度以降の総会や報告会等の場で事業実施前後の職場環境改善事例報告を行う。

また、新人・中堅技能者を対象に、事業実施前後の技術の理解度の自己評価と講師評価を行い相互に技能レベルの達成度を確認・共有する。また、「木を活かす建築推進協議会」が作成した大工技能者の職業の能力基準に基づく「職業能力評価シート」による評価を受講前と受講後に受講者と所属会社指導者に対して実施し評価を行う。

4

## 3. 補助事業の概要

### (5) 期待される効果

経営・管理者には、技能者が安心して入職し、継続して働くことの出来る環境づくりのイメージを認識し、職場環境を改善するための就業規則の作成や社会保険等の整備、待遇改善の仕組みを順次整える。新人や中堅技能者は、技能や知識を習得する教育訓練の仕組みを整備・実施することで、能力や経験に応じた技術や知識が向上し仕事に対する取組意欲が高まるなど継続して働くことのできる環境づくりが整えられる。

### (6) 受講者属性

#### ① 受講者数

職場環境改善研修会(参加人数:43名/目標人数60名)

30代3名、40代18名、50代8名、60代14名(経営者・部門責任者)

大工技能者講習(参加人数:24名/目標人数15名)10代8名 20-24歳21名

#### ② 受講料

職場環境改善研修会(1,000円/人) 大工技能者講習(9,000円/人)

#### ③ 募集及び選定方法

当団体の会員及び県内関連事業者団体、一般工務店・個人事業主等を対象に事業趣旨を記載したチラシ等による周知・公募を行う。原則先着順とするが定員を超えた場合は会場の変更などで最大限の人数まで受け入れる。

5

## 4. 運営委員会等の活動状況



運営委員会 全5回(協会内の大工育成委員会の委員が中心)

〈主な活動内容〉

- ・事業内容の検討、労働環境実態把握
- ・就業規則モデルの検討
- ・研修内容の協議・決定

6

## 5. 研修内容

### (1) 座学(全3回)

建設業経営者向け労務管理セミナー

建設業における「働き方改革」のポイント

- 建設業における「働き方改革」とは？
- 定着率を上げるために今、取り組まなければいけないこと
- 今ある就業規則で大丈夫なのか？
- 時間外労働・割増賃金・有給休暇ってどうするの？

セミナー風景



開催案内

建設事業 経営者の悩みの多くは「(一社) 福島県工務店協会」  
 目前に迫る働き方改革を知ろう！  
**建設業経営者向け労務管理セミナー**  
**建設業における「働き方改革」のポイント**

働き方改革推進計画の施行により、給与額と出勤率に平均的な格差が開き、給与水準が低い事業者が競争力を失っていき、さらに格差が開いていくことが懸念されています。働き方改革の推進により、格差を解消し、競争力を向上させることが重要です。

建設業における「働き方改革」のポイント

- 定着率を上げるために今、取り組まなければいけないこと
- 時間外労働・割増賃金・有給休暇についてどうするか

講師 特定社会保険労務士 櫻井 好美氏

定員 20名様 ※定員に達しない場合は開講できません。

締切 ①10月7日(月) ②10月21日(月) ③11月1日(金)

参加費 1名1,000円(税別)

※お申し込みは、お申し込みフォームからお願いいたします。

お問い合わせ先 (一社) 福島県工務店協会 事務局 電話: 0246-20-0111 FAX: 0246-20-0116

7

## 5. 研修内容

### (2) 実技 (全8回)

講習会内容		
第1回	9月14日(土)	差し金使用方法及び道具の基礎知識
第2回	9月28日(土)	差し金及び道具の専門的使用方法
第3回	10月12日(土)	展開図・墨付け・刻みの規矩術演習
第4回	11月 9日(土)	展開図・墨付け・刻みの規矩術演習
第5回	11月10日(日)	展開図・墨付け・刻みの規矩術演習
第6回	11月16日(土)	展開図・墨付け・刻みの規矩術演習
第7回	11月17日(日)	展開図・墨付け・刻みの規矩術演習
第8回	12月 7日(土)	新人・中堅技能者向けのコミュニケーション活用



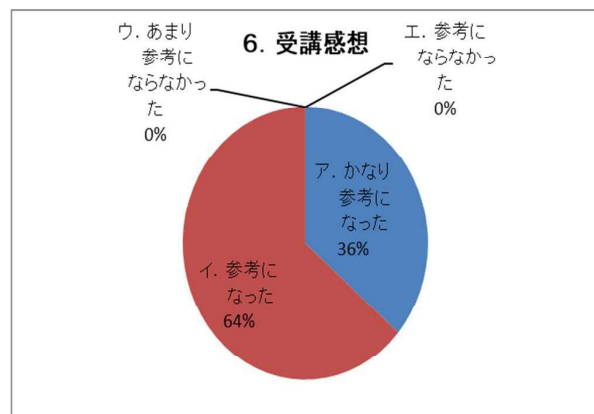
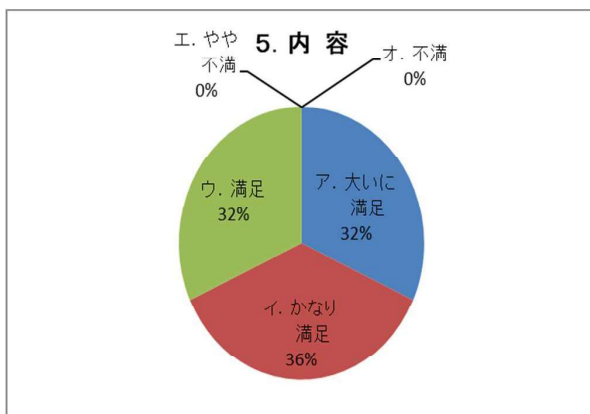
展開図・墨付け・刻みの規矩術演習風景

コミュニケーション活用風景 8

## 6. 人材育成の達成状況 (達成目標への到達度の検証)

職場環境改善研修会の達成目標は、経営・管理者を対象に、地域工務店が直面している職場環境に関する課題、自社の労働環境、雇用形態、賃貸体系等の働き方を把握し、長時間労働の是正、社会保険の加入、生産性の向上、職場環境の改善に取り組む人材を育成し、各事業者における就業規則等の作成を目指すのだが、本研修会を受けて、実際に自社の就業規則や社員に対する労働環境等の見直しをするきっかけになったと受講者から多くの意見があった。

大工技能者講習の達成目標は、新人や中堅技能者を対象に掲げたプログラムを中心に、大工就業者(木造技能者育成検討委員会が明示するレベル1相当の大工等)育成を目指すことを達成目標としたが、受講内容等について満足度が高い評価を受けている。



## 7. 補助事業により得られた成果等

職場環境改善研修会では、自社の就業規則を持参し、不足している部分等をチェックすることで自社がどれくらい雇用環境の意識が薄いかを認識させることを目的にしていたが、実際に参加した受講者からは以下のような感想がきかれた。

- ・設立以来就業規則を変更していなかったが今回の受講で取り組むきっかけになった。
- ・時間外労働、割増賃金、有給休暇についてよく理解していなかったが非常に重要なことだと再認識した

就業規則については、協会で標準的なものを作成し、それをもとに各社の状況にあわせたものをつくりこむことで定着率の増加や雇用環境の改善につながるようになる。受講者の中にもすぐに就業規則を作り直す会社が多くでいた。

大工技能者講習会では、普段仕事で展開図、墨付け、刻みなどを行っている受講者がほとんどいなく、道具の基礎的な知識も少ない状況であったが、本研修会を受講することで以下のような感想がきかれた。

- ・差し金で勾配をだせるようになり、裏目の使い方を理解できた。
- ・効率よく墨付けを行う方法をすることができた。
- ・自社のやり方と違い、規矩術をよく理解することができた。
- ・建築大工技能士資格取得を本格的に取り組んでみようと思えることができる研修会だった。
- ・大工という仕事に、改めて誇りをもてるようになった。

10

## 8. 補助事業により得られた課題等

事業により得られた課題について

### 【職場環境改善研修会】

働き方改革関連法案の施行により、他産業と比較して平均労働時間が長い建設業界は、「労務管理」・「人材定着」等がかなり遅れており、中でも就業規則が現在の労働基準法に整合していない会社も多く見受けられる。定着率をあげるためには、就業規則改善・時間外労働・割増賃金・有給休暇をしっかりと事業主が理解することが重要であり、業界全体としての大きな課題である。

### 【大工技能者講習会】

普段から道具の手入れ方法、木材に関する知識、差し金の使い方を指導者等にきちんと教わっている受講者と教わっていない受講者では理解に差があった。中でも、規矩術については、展開図・墨付け・刻みで各自のレベル差が顕著にあらわれており、受講者全体のレベルが違うので、進め方や理解度を確認しながらなので、理解している受講者からすると遅く感じることもあった。今回は、2級建築大工レベルだったが、1級課題レベルを望む声も多くあり、次回以降の検討課題である。

コミュニケーション理論では、受講者も人間関係・知識技術力の無さ・成長しないこと等、自身の弱さなどが改めてわかり、今後はそれをどう改善していくか、次のステップの研修が必要であり、課題の多さが浮き彫りになった。

11

## 9. 大工育成に関する今後の取組について

### 次年度以降の取組みについて

当協会では、昨年度は働き方改革に対応するために就業規則改善を中心に研修会を行ったが、次年度以降も引き続き、働き方改革に対応するために引き続き研修会を開催する。

現在、検討しているのは、建設業界でも多くなってきている「メンタルヘルス」に対応するため、【労働関係訴訟】・【労働審判事件】・【うつ病】関連の研修会を開催予定。建設事業者として、損害は、高額の賠償金、報道による企業イメージダウンを始め、従業員のモラールダウン、人材の流出、採用コストの増加、労働損失による売上減少等に関わってくるため、まさに待ったなしの状況です。これを防ぐためにも、メンタルヘルス対応が重要です。

規矩術では、2級建築大工技能士レベル研修会を引き続き開催し、1級建築大工技能士レベルの研修会も開催する予定。また、工務店同士で、受講者をそれぞれの別の会社の現場等にいかせて手刻みを体験したり、色々なことを学べるようにOJT研修もあわせておこなうことを考えています。

**今、建設業界は一番遅れていることを再度認識し、業界全体で働きやすく、若い人達が入職しやすい環境を作ることが我々の使命だと再認識しています。**

# 令和2年度のスケジュール

## 参考資料

木造住宅の担い手である大工技能者の減少・高齢化が進む中、木造住宅及び都市部における非住宅や中高層の木造建築物(都市木造建築物)の生産体制の整備を図るため、民間団体等が行う大工技能者等の確保・育成の取組や、拡大余地のある都市木造建築物を担う設計者の育成・サポート等の取組に対する支援を行う。

**(1)大工技能者等の担い手確保・育成事業**

民間団体等が複数年計画に基づき実施する、大工技能者等の確保・育成の取組を支援。

**【事業内容】**

**①団体主導型**

大工技能者等に関する民間団体等が全国的に実施する大工技能者等の確保・育成の取組に対する支援を行う。

**②地域連携型**

地域における複数の大工技能者関係機関が連携して実施する大工技能者等の確保・育成の取組に対する支援を行う。

**【補助対象】** 大工技能者等の確保・育成の取組に要する費用

**団体主導型**

大工技能者等に関する団体・協議会(中央組織)

**地域連携型**

特定の地域における複数の大工技能者等関係団体・機関によるグループ



各団体・地域にとって最適なく確保・育成のスキームを構築し、各団体・地域での持続的な取組へと繋げていくことで、将来にわたり大工技能者の能力を発揮できる木造住宅生産体制の整備を図る。

**(2)都市木造建築物設計支援事業**

都市木造建築物の設計の円滑化に資する環境を整備する取組及び都市木造建築物を担う設計者を育成・サポートする取組を支援。

**【事業内容】**

**①都市木造建築物設計支援情報の集約一元化**

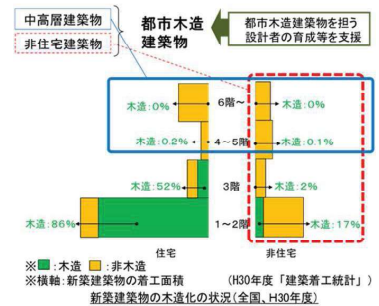
都市木造建築物の設計に資する技術情報を集約・整理し、設計者へ一元的に提供する情報インフラ(ポータルサイト)の整備に対する支援を行う。

**②都市木造建築物設計者の育成**

都市木造建築物の設計に関する講習及び具体的設計に対する技術サポートに対する支援を行う。

**【補助対象】** ①情報インフラ(ポータルサイト)の整備に要する費用

②設計に関する講習及び具体的設計に対する技術サポートに要する費用



**【補助事業者】** 民間事業者等

**【補助率】** 定額

**【事業期間】** 令和2年度～令和4年度

令和2年度執行スケジュール(予定)

	団体主導型	地域連携型
3月上旬	公募開始	
3月中旬	提案〆切	
4月下旬	採択(事業着手可) / 交付申請	
5月下旬	交付決定	採択(事業着手可) / 交付申請
6月下旬		交付決定
10月下旬	中間報告(報告期限:11月中旬)	
令和3年1月上旬		完了実績報告(1回目) ※事業開始～令和2年11月分までの支払い証明書類(領収書等)を提出
2月上旬	完了実績報告(1回目) ※事業開始～令和2年12月分までの支払い証明書類(領収書等)を提出	完了実績報告(最終) ※令和2年12月から事業終了までの支払い証明書類及び完了実績報告書一式を提出
2月下旬		額の確定
3月上旬	完了実績報告(最終) ※令和3年1月から事業終了までの支払い証明書類及び完了実績報告書一式を提出	
3月下旬	額の確定	

# 事業成果報告会

令和2年2月28日（金）13：30～16：30  
 富士ソフト アキバプラザ 6階「セミナールーム1」  
 （東京都千代田区神田練堀町3 JR秋葉原駅徒歩2分）

## 補助事業実施団体による事業成果報告

<p><b>一般社団法人 全国住宅産業地域活性化協議会</b> 『地域の住宅事業者団体を中心とした大工入職者育成事業と育成体制の整備』</p> 	<p><b>全国建設労働組合総連合</b> 『大工入職者育成支援事業』</p> 	<p><b>一般社団法人 JBN・全国工務店協会</b> 『地域の工務店による大工職人の育成・活用に関する取組み』</p> 	<p><b>一般財団法人 住宅産業研修財団</b> 『地域に根ざした伝統木造住宅施工技術者教育プログラム「大工志塾」』</p> 	<p><b>一般社団法人 全国木造建設事業協会</b> 『災害時における大工技能者の技術・技術向上等事業』</p> 
<p><b>一般社団法人 北海道ビルダーズ協会</b> 『北海道の工務店ネットワークによる大工育成』</p> 	<p><b>一般社団法人 福島県工務店協会</b> 『働き方改革取組「経営・管理者が学ぶ雇用環境の改善」及び「大工技能者における規矩術研習並びに新人・中堅大工コミュニケーション理論」』</p> 	<p><b>愛知県建設団体協議会</b> 『工務店経営と住宅の維持管理業務から発生するリフォーム提案研修』</p> 	<p><b>一般社団法人 KKN</b> 『地域工務店が取り組む大工育成』</p> 	

※当日は、国土交通省から「令和2年度のスケジュール」もご紹介予定です!!

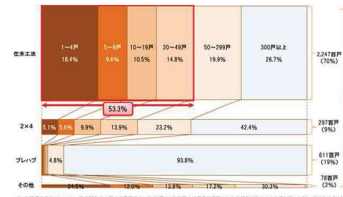
主催：一般社団法人 木を活かす建築推進協議会 共催：国土交通省

## 地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業

令和元年度予算：4.47億円

急激な大工技能者の減少・高齢化に対し、地域における木造住宅施工技術体制を維持・整備し、地域の優良な住宅ストックを形成するため、民間事業者からなるグループが行う大工技能者育成のための研修活動を支援する。

### ● 木造住宅供給の担い手



○ 住宅ストック5,000万戸のうち、木造戸建住宅は2,500万戸に達し、ストックの約半数を占める。

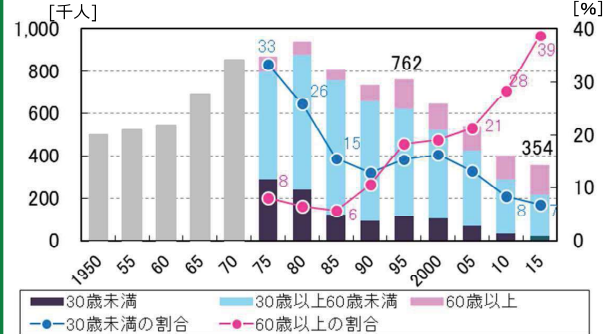
○ 在来木造戸建注文住宅の約半数は中小の大工・工務店が供給している状況。

○ リフォーム相談件数は近年増加傾向にあり、住宅ストックの適正維持・更新へのニーズが高まっている。

### ● リフォーム相談件数の推移



### ● 大工就業者の現状



○ 大工就業者は現在約35万人。この20年で半分に減少。  
 ○ 特に30歳未満の新規入職者が大幅に減少し、高齢化率が上昇。

- 事業内容：民間事業者からなるグループ等が行う大工技能者育成のための研修活動
- 補助事業者：民間事業者からなるグループ等（団体・協議会等）  
 ※ただし、グループを構成する事業者が手がけた建物の維持・更新について、グループ内で適切に継承できる体制が確保されているものに限る
- 補助対象：研修会の運営に必要な経費
- 補助率：右記研修区分①は定額、②は1/2

### ＜支援対象とする研修内容＞

区分	主な研修内容
① 全国的に共通する課題に対応した取組	・リフォーム等による地域の住宅の適切な維持・更新対応 ・被災住宅応急修理、応急仮設住宅供給対応 ・長期優良住宅対応 ・その他、特に政策的に対応が必要と認められる取組
② 生産性向上又は地域の気候風土対応等の取組	・住宅生産における機械化、資材の標準化対応 ・地場産材・産品活用、地域に承継される工法対応 ・労働安全衛生管理、多能工育成

地域における良質な住宅ストックの適切な維持・更新、地域経済の活性化・地方創生の推進



# 令和元年度「地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業」実施グループ

※交付決定時点の情報を記載

## 1. 令和元年度採択グループ

No.	グループ	実施地域
1	(一社)北海道ビルダーズ協会	北海道
2	青森県優良住宅協会	青森県
3	(一社)福島県工務店協会	福島県
4	(一社)東京大工塾	東京都
5	(一社)日本木造住宅産業協会	千葉県
6	(一社)にいがた木造建築協会	新潟県
7	(一社)石川県木造住宅協会	石川県
8	(一社)富士山木造住宅協会	静岡県
9	愛知県建設団体協議会	愛知県
10	和歌山県木造住宅生産体制強化推進協議会	和歌山県
11	(一社)JBN・全国工務店協会(新人大工育成)	5都県(東京都、長野県、岡山県、徳島県、大分県)
12	(一財)住宅産業研修財団	5都府県(東京都、石川県、愛知県、大阪府、福岡県)
13	(一社)JBN・全国工務店協会(リフォーム施工技術)	7都府県(宮城県、東京都、愛知県、大阪府、広島県、愛媛県、福岡県)
14	(一社)全国住宅産業地域活性化協議会	11府県(岩手、山梨、福井、愛知、大阪、鳥取、岡山、広島、山口、長崎、鹿児島)
15	(一社)全国古民家再生協会	20道府県(北海道、青森、山形、宮城、福島、栃木、千葉、静岡、新潟、富山、岐阜、大阪、滋賀、京都、鳥根、岡山、香川、福岡、宮崎、沖縄)

## 2. 過年度採択グループ (H29～30年度採択グループのうち、令和元年度も継続して事業を実施するグループ)

No.	グループ	実施地域
1	(一社)山形県優良住宅協会	山形県
2	ちば木造建築ネットワーク	千葉県
3	(一社)富山県優良住宅協会	富山県
4	長崎ビルダーズネットワーク	長崎県
5	(一社)宮崎県建築業協会	宮崎県
6	(一社)KKN	福岡県、熊本県、鹿児島県
7	(一社)JBN大阪	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県
8	(一財)住宅産業研修財団	5都府県(福島県、東京都、愛知県、大阪府、福岡県)
9	全国建設労働組合総連合	8県(茨城県、埼玉県、神奈川県、愛知県、広島県、島根県、徳島県、大分県)
10	(一社)全国木造建設事業協会	15府県(宮崎、岡山、山形、広島、福井、富山、千葉、秋田、大阪、兵庫、長野、福岡、佐賀、沖縄、山口)

# 令和元年度「地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業」採択事業一覧

(採択日:R1.6.10) (交付決定日:R1.8.2) 注:交付決定時点の情報を記載

No.	事業者	事業名	事業概要	実施地域
1	青森県優良住宅協会	『青森大工技能者育成アカデミー』	若手大工を対象として、長期優良住宅(新築・リフォーム)や性能向上リフォーム等に携わることができる能力のほか、技能者としての幅広い知識の習得を目指し、座学・実技研修を実施。	青森
2	(一社)福島県工務店協会	働き方改革取組『経営・管理者が学ぶ雇用環境の改善』及び『大工技能者における規矩術研修並びに新人・中堅大工コミュニケーション理論』	「経営・管理者」を対象とした職場環境改善の取組みに係る研修、「大工技能者(新人・中堅技能者)」を対象とした研修(基本的な技能者の習得と併せて長期優良住宅や省エネ住宅等の建設に携わることの出来る能力、技能者の資格やマネジメント力を有する技術者としての知識習得等)を実施。	福島
3	(一社)にいがた木造建築協会	新潟の地域工務店が取り組む規矩術・リフォーム改修の実践大工職人育成	木造住宅建築における多様化や、リフォーム現場において、性能向上を主とした耐震性のある住宅・耐火性能のある住宅など幅広い知識・技能が要求されている現状を踏まえ、大工就業者(レベル1(見習い大工)相当)(※)を対象に、幅広い座学・実技研修を実施。	新潟
4	(一社)富士山木造住宅協会	静岡大工育成	大工就業希望者(学生)及び大工就業者(レベル1(見習い大工)相当)(※)を対象に、「大工の心得を身につける」、「大工仕事周辺の幅広い技術を身につけ「新しいこれからの大工」へ第一歩とする」等をテーマとした座学・実技研修を実施。	静岡
5	(一社)北海道ビルダーズ協会	北海道の工務店ネットワークによる大工育成	若年大工の「採用と育成」の両側面から取り組むことの方針に基づき、新人・若手大工向けの研修会・初級講座のほか、大工を育成する指導者向け指導力向上研修、経営者向け雇用安定化セミナーなど、各階層を対象とした座学研修を実施。	北海道
6	(一社)東京大工塾	一般社団法人「東京大工塾」会員工務店の社員大工への大工育成プログラム	新人社員大工を対象に、伝統木造建築を中心とした知識・技能の習得に努めることを基本プログラムとする集合座学研修及び実技指導を実施。	東京
7	(一社)石川県木造住宅協会	地域の優良住宅ストックの適切な維持・更新(安心R住宅への取組み)及び省エネルギー住宅への取組みに資する木造住宅施工技術研修	会員大工等を対象に、性能向上リフォーム(耐震性、劣化対策、省エネルギー性能、維持管理等の向上)、省エネルギー基準、更なる省エネルギー性能の住宅(ZEH、LCCM住宅等)への取組みに資する座学研修を実施。	石川
8	愛知県建設団体協議会	工務店経営と住宅の維持管理業務から発生するリフォーム提案研修	経営者・管理者層を対象に、経営者の意識改革、地域ネットワークの構築と活用の提案、維持管理提案とリフォーム受注時の注意点、省エネルギー工事実務の注意点に係る座学研修を実施。	愛知
9	和歌山県木造住宅生産体制強化推進協議会	和歌山県応急木造仮設住宅施工技術体制整備事業	大工技能者等を対象に、木造応急仮設住宅の建設訓練(駆対組立・解体訓練)を実施するとともに、木造応急仮設住宅の施工マニュアルを作成し、本事業による訓練映像やマニュアルを活用した座学研修を実施。	和歌山
10	(一社)日本木造住宅産業協会	既存の訓練施設を利用した大工技能者育成事業	若年大工技能者を対象に、木造軸組住宅の大工技能者として必要不可欠な墨付・手刻み等の大工技能に関する実技、木材・木造の知識に関する座学、大工技能者として特有に求められる社会人基礎講習を実施。	千葉
11	(一社)全国古民家再生協会	令和の大工棟梁技術者育成体制整備事業	古民家の保存活用や地域の木造文化を継承するため、若年大工技能者を対象に、地域の住文化に密着した大工棟梁による伝統構法に関する座学及び実技研修を実施。	全国(20道府県)
12	(一財)住宅産業研修財団	地域に根ざした伝統木造住宅施工技術者教育プログラム「大工志塾」	若手大工技能者を対象に、毎月1日の講義(座学)、群馬県多野郡神流町での古民家再生及びU/Tターン者のための木造住宅設計標準モデル構築プロジェクトへの見学・参画(実技指導)、受講生自らが所属する各工務店における現場修業、の3つの育成プログラムに基づく教育指導を実施。	全国(5都府県)
13	(一社)全国住宅産業地域活性化協議会	地域の住宅事業者団体を中心とした大工入職者育成事業と育成体制の整備	共通の育成カリキュラムや地域特性を踏まえた育成プログラムを作成し、入職3年以内の若手大工技能者を対象とした研修(座学・実技・現場見学)を実施することを通して、地域の大工技能者等の育成に関する一定のスキームを構築。	全国(11府県)
14	(一社)JBN・全国工務店協会	地域の工務店による大工職人の育成・活用に関する取組み	個々の中小工務店では限界がある大工技能者の社員化(雇用)や人材育成について、当協会を介した地域による取組みを検討し、新規入職者基本研修検討委員会の設置、新規入職者向け基本導入研修の実施、新規入職者確保・育成に向けた工務店研修会を実施。	全国(5都府県)
15	(一社)JBN・全国工務店協会	地域工務店が行う温熱環境改善リフォームとリフォーム現場施工におけるトラブル対応	全国7都府県において、大工技能者、管理者、経営者等を対象に、維持管理計画研修会、リフォーム現場トラブル回避&対応研修会(維持管理含む)、温熱環境改善&省エネリフォーム研修会を実施。	全国(7都府県)

(※)「大工技能者の育成の検討報告書」(平成28年3月)で示す大工技能者職業能力基準のレベル(計4段階)

# 令和元年度「地域に根ざした木造住宅施工技術体制整備事業」継続事業一覧

注：交付決定時点の情報を記載

No.	事業者	事業名	事業概要	実施地域
平成29年度採択事業(令和元年度も継続して事業を実施)				
1	全国建設労働組合総連合	大工入職者育成支援事業	良質な住宅ストックの形成を進めるために、木造住宅建築の基礎から学べる育成プログラムを組み、初期入職者を対象に学科・実技講習を行う。【3ヶ年事業】	全国 (8力所)
2	(一社)富山県優良住宅協会	地域工務店が取り組む富山型大工技術・技能伝承プログラム	大工就業3年未満の者を対象に、長期優良住宅や性能向上リフォームにも対応できる技能・能力を備えた建設技能者を育成するための研修会を実施。【3ヶ年事業】	富山
3	(一社)JBN大阪	近畿2府2県の大工育成事業	学生及び大工就業者(見習い大工)を対象に、長期優良住宅や性能向上リフォームにも対応できる技能・能力を備えた建設技能者を育成するための研修会を実施。【3ヶ年事業】	大阪 兵庫 京都 滋賀
4	(一社)KKN	地域工務店が取り組む大工育成	学生及び大工就業者(見習い大工)を対象に、長期優良住宅や性能向上リフォームにも対応できる技能・能力を備えた建設技能者を育成するための研修会を実施。【3ヶ年事業】	熊本 福岡 鹿児島
平成30年度採択事業(令和元年度も継続して事業を実施)				
5	(一社)山形県優良住宅協会	地域工務店が山形県内で取り組む大工育成	大工就業者(レベル1(見習い大工)相当)(※)を対象に、大工技能に加え、技能士などの資格取得も視野に入れた研修プログラムを実施することを通じて、より一層大工の価値向上につなげる。【2ヶ年事業】	山形
6	ちば木造建築ネットワーク	地域の次世代を担う大工育成(木造住宅の建築技術と基礎知識を学ぶ)	大工技能者としての意識・技術力の向上を図るため、新人大工技能者等を対象に、木造住宅の建築技術や基礎知識の習得を中心とした座学及び実習を実施。【2ヶ年事業】	千葉
7	長崎ビルダーズネットワーク	長崎県で地域工務店と木材・流通事業者が取り組む大工育成	大工就業者(レベル1(見習い大工)相当)(※)を対象に、長期優良住宅・省エネ住宅等に対応する幅広い知識・技能の習得に加え、営業・コミュニケーション能力の向上に資するプログラムを交えた研修を実施。【2ヶ年事業】	長崎
8	(一社)宮崎県建築業協会	ひむか大工塾	木造軸組構法の基礎的な学習と社会人教育に重点を置いた訓練プログラムを作成し、新人社員大工を対象とした座学及び実技講習を実施。【2ヶ年事業】	宮崎
9	(一財)住宅産業研修財団	地域に根ざした伝統木造住宅施工技術者教育プログラム「大工志塾」	全国の工務店に所属する若手大工技能者を対象に、伝統的な木造軸組構法に関する知識・理論と技術・技能の両面を兼ね備えた技能者を育成するための座学及び実技指導を実施。【2ヶ年事業】	全国 (5力所)
10	(一社)全国木造建設事業協会	災害時における大工技能者の技術・技術向上等事業	災害時における応急仮設木造住宅の建設を迅速かつ的確に実行していく施工体制を充実・強化するため、大工技能者の応急仮設木造住宅建設に係る施工技術や知識の向上等に資する座学及び実技講習(仮設住宅・集会所等)を実施。【2ヶ年事業】	全国 (15力所)

(※)「大工技能者の育成の検討報告書」(平成28年3月)で示す大工技能者職業能力基準のレベル(計4段階)